

患者を生きる

4630 女性の痔^じ①

「そういえば、今週も出ていなかったな」
今から15年ほど前。当時、35歳だった会社員の女性は、便秘をもよおした気がして、トイレにこもっていた。
いつも便秘がちで、仕事のある平日は便が出ない。週末に下剤を使って出すのが定番だったが、その日は下剤が手元になかった。
翌日は早朝から、夫と友人家族と出かける予定があった。「今日、出しておかないや」と心に決め、「ふーん！」と頑張ること数十分。カチコチになった便をなんとか押し出すことができたけれど、お尻に、今まで感じたこと

無理やり排便 奥に違和感



便秘がひどくなったのは、20代で就職してからだった

とのない違和感が残った。肛門の奥の方が打ち身になったような、なんとも言いえない嫌な感じがした。
お尻に「ただ事ではない何

か」が起きた気がした。
子どもの頃から便秘がちだった。外出すると緊張のスイツチが入るのか、そもそも便秘を感じない。家以外の場所では用を足せない性格でもあった。
22歳で就職すると、症状は悪化した。会計業務が担当で、始業時間に遅れないように、お金を教え間違えないように……という緊張感からか、仕事に行く平日は、月曜から金曜までまったく便意が起きなかった。
週末になるとさすがにおなか張ってくる。それを週1回、下剤で出すのが日常になっていた。それでも、生活に

大きな支障はなかった。
35歳のその日までは。
その日以来、お尻のあたりがずーんと重く、モヤモヤする感覚が数日経っても治らない。1週間ぶりに排便しようとする、便の通り道が狭くなった感じがした。狭い壁を「スズズ」と擦りながら、硬くなった便が下りてくる。それを、無理やり押し出すのが、苦しかった。
「便秘とどうつきあえばいいんだろう」
悩んだ末、週1回の排便生活を変えたくて、翌年には仕事を週4日に減らした。でも一通り道が狭い「感覚は良くなるが、便はだんだん細くなっていた。」
◆5回連載します。(鈴木彩子)

■ご意見・体験は、氏名と連絡先を明記のうえ、
iryo-k@asahi.com
へお寄せください。



「患者を生きる」は医療サイト「朝日新聞アピタル」(<http://www.asahi.com/apital/>)でも、ご覧になれます。